

製品・サービス動向-国内**■ソフトバンク：マルチデバイスで利用できる電話会議サービスの提供開始**

(12月11日)

ソフトバンク株式会社 (<http://www.softbank.jp/>) (東京都港区) は、法人向け電話会議サービス「GlobalMeet 電話会議サービス」を12月11日より提供開始する。

初期費用や基本料金は一切かからない、利用した分だけを支払う従量課金制サービス(提供元：プレミアカンファレンシング株式会社)。

世界53か国70地域にローカルアクセス番号を用意し、該当の国からコールする場合は国際通話料がかからない仕組みを提供している。

また、ソフトバンクの直取電話サービス「おとくライン」とソフトバンクの携帯・PHSから利用の場合、国内通話料が定額で利用できるようになっている。

従量課金は利用状況に応じて、2つの料金プランを提供する。ひとつは、安価に利用できる、利用分数に応じたプラン「プラン1」と、もうひとつは利用時間で支払うシンプルプラン「プラン2」。定額制プランも用意している。

たとえば、プラン2を利用して、ローカルダイヤルイン接続で参加する場合、「サービス利用料金」は24円/分となる。それに加え、国によって異なる「ローカルダイヤルイン料金」(日本・アメリカは0円)や、「アクセスポイントまでの通話料」がかかる形になっている。

GlobalMeet 電話会議サービスは、マルチデバイスに対応している。スマートフォンやタブレット(iOS/Android)の専用アプリケーションをダウンロード

すれば、会議の主催や参加が可能。加えて、VoIPにも対応しているため、パソコンでの会議参加も可能となっている。

その他、会議開始には、ローカルダイヤルイン接続、フリーコール接続、ダイヤルアウト接続のいずれかで会議に接続できるようになっている。また、会議開催時に便利な、会議ロック機能、Music-On-Hold、会議開始前の主催者確認(セキュアタッチ)、出席者確認、パスワード発行(ワンタイムパスワードもあり)なども提供している。

なお、ソフトバンクでは、司会者が介在する大規模な会議や説明会に適したオペレータアシスト型の「電話会議プレミアム」も提供している。

■日本トータルシステム：WebRTC対応のWeb会議システム「V-SESSION」の無料提供開始、2016年には法人向け有料プラン、スマートフォン対応など予定

(12月8日)

日本トータルシステム株式会社 (<http://www.sjts.co.jp/>) (北海道札幌市) は、WebRTCに対応した、1クリック(約1秒)で会議を開始できる、無料のクラウド Web 会議システム「V-SESSION」(<https://vsession.jp/>) (ブイセッション) の提供を12月8日より開始する。

テレワーク制度などを利用して場所や時間にとられない働き方をしたいというニーズがある一方で、企業でのテレワーク制度の導入率は低い状況にあるという。課題として「コミュニケーションに支障がある」

といった理由が挙げられるとしている。

この課題を解決するため、同社では、特別な機材やソフトウェアを必要とせず自宅や外出先から社内と映像・音声を使ったコミュニケーションが取れる Web 会議システム V-SESSION の提供を開始する。

V-SESSION は、メールに記載された URL をワンクリック（約 1 秒）するだけで会議に参加することが可能となっている。

機能としては、1 対 1 でのテレビ会議が行えるほか、チャット、ホワイトボード、メモ、ファイル転送、アドレス帳、招待メールの各機能を利用できるようになっている。ただし、WebRTC のため、ユーザの PC には、Google Chrome もしくは Mozilla Firefox 最新版がインストールされている必要がある。同社によると、Microsoft Edge は今後対応する予定で、スマートフォンについても今後対応する予定となっている。

今後の予定としては、2016 年 2 月下旬に V-SESSION プレミアム（有料・法人向けプラン）の提供開始、同年 7 月には iPhone/Android アプリ版のリリースをそれぞれ予定している。

■ ブラザー工業：Web 会議システム「OmniJoin」が Android 端末から Web 会議に参加できる無料アプリを提供開始

（12 月 1 日）

ブラザー販売株式会社（<http://www.brother.co.jp/>）（愛知県名古屋市、ブラザー工業株式会社の国内販売子会社）は、Web 会議システム「OmniJoin（オムニジョイン）」の新たなサービスとして、Android 端末から Web 会議に参加できる無料アプリケーションを提供開始する。

OmniJoin は、2012 年 9 月よりサービスを開始したブラザーの Web 会議システム。独自の技術により実現した高画質・高音質のほか、ローコスト、簡単接続の 3 つの特長があるという。インターネットに接続でき

る環境があればサービスにかかる初期費用は不要で使用できる。



OmniJoin Android 端末での Web 会議イメージ （ブラザー工業）

2013 年 11 月には PC に加えて、iOS 端末に対応し、ビジネスにおけるモバイル端末の利用が増えていることから、この度、Android 端末からも OmniJoin を利用できるようにした。アプリは無料で OmniJoin ユーザであればだれでも GooglePlay からダウンロードして利用することが可能。

■ FCS：Web 会議システム「Flexible Cost Saver」新バージョンをリリース、アイコンの刷新や操作性向上、新映像コーデック採用

（12 月 2 日）

株式会社 FCS（<http://www.fcs21.jp/>）（大阪市北区）は、Web 会議システム「Flexible Cost Saver」の新バージョン（Ver. 11）を 12 月より提供開始する。

Flexible Cost Saver は、「シンプルな Web 会議」をコンセプトに掲げ、初めての利用者でもストレスなく利用できるように、ユーザビリティの向上と、音声・映像の高品質化・高圧縮化を追求してきた。

今回の新バージョンでは、アイコンをフラットなデザインに変更しサイズを大きくしたりすることでさらに直感的な操作が可能になった。

また、PC 版においては、Web 会議に適した音声機

器を自動的に選択したり、機器が外れたらすぐに通知されるなどスムーズな Web 会議をサポートする機能を追加した。

さらには、新しい映像コーデックを採用することで、PC 版、スマートフォン、タブレット版ともに、従来のバージョンよりも高画質な映像品質で Flexible Cost Saver を利用（録画オプションも含む）できるようになった。

FCS は、基幹システムから携帯アプリまでの幅広いサービスを提供する独立系 SIer。Flexible Cost Saver では各企業の実環境でのデモンストレーションから、周辺機器提案、社内導入の協力までワンストップで支援する。

*関連記事：2010年5月31日号：FCS、Web 会議のクラウドサービス開始

■エイネット：クラウド監視カメラソリューションを使った映像監視システムを提供開始

(12月1日)

エイネット株式会社 (<http://www.anets.co.jp/>) (東京都千代田区) は、従来の監視システムと比べ低コストなクラウド型監視カメラシステムを提供開始する。

クラウド型監視カメラシステムは、カメラをインターネットに接続し、監視映像をすべてクラウド上のサーバに記録することで監視システムの柔軟な運用を可能にするソリューション。

カメラとネットを接続するためのアダプタを介して、既成のデジタルカメラやアナログカメラをインターネットに接続するだけ。あとはすべてクラウド上の管理システムから操作を行う形。カメラの追加、ユーザの閲覧制限など管理画面で行える。加えて、画面内での不審な動きなど異常発生時には、あらかじめ指定した管理者に対してアラートを出すことも可能となっている。

記録した映像はクラウド上のサーバに暗号化し保存。インターネット経由でどこからでも映像監視をセキュアに確認できる。よりセキュリティを重視する場合は、ローカルに設置したハードディスクをクラウドからコントロールする専用映像レコーダーも用意している。

エイネットによると、今回の新製品は、ストレージのクラウド化と既存のアナログカメラを流用可能とすることで、従来の監視システムと比較して、圧倒的な低コストを実現したとしている。

同社としては、工場や店舗の監視用として販売するほか、インターネットに接続していれば、世界中どこからでも過去の記録映像を見ることができるとのメリットを生かした新しいコミュニケーションツールに活用したり、映像認識の機能を利用して、防犯、テロ対策、見守りなどさまざまな応用を見込んでいる。

■JIGH とスマート・ナビ：iPad を利用した医療専門テレビ電話通訳サービスの提供を開始

(11月25日)

一般社団法人ジェイ・アイ・ジー・エイチ (<http://jigh.org/>) (東京都港区、JIGH) は、株式会社スマート・ナビ (<http://smartnavi.co.jp/>) (東京都豊島区) との連携で、iPad を利用したテレビ電話医療通訳システム「テレビ de 医療通訳」の提供を12月1日から開始する。

テレビ de 医療通訳は、スマート・ナビの「テレビ de 通訳」のシステムを利用し、JIGH が運営する電話医療通訳サービス「mediPhone(メディフォン)」の医療通訳者が通訳する。

医療機関での受付時や診察時、処方箋薬局での説明時、市民宅へ訪問する自治体などの福祉サービスや介護サービス提供時、宿泊施設や交通機関などにおける体調不良の外国人への急な対応などに活用できるといふ。

対応言語は現在のところ英語と中国語（普通語）だが、他言語も順次拡充予定という。サービス提供時間は、年末年始と日曜祝日を除く毎日8時30分から21時30分まで（順次拡充予定）。利用にあたっての予約は不要。



テレビ de 医療通訳 (JIGH)

2012 年以來、旅行業界や専門店など数千店での導入実績をもつテレビ de 通訳と、これまでに全国 70 以上の医療機関で導入されている電話医療通訳サービス mediPhone が連携することで、一般通訳サービスでは対応の難しかった医療の専門用語を含んだ会話をテレビ電話通訳で対応することが可能になった。

JIGH は、医療領域の課題解決に取り組む医療シンクタンク。2014 年 1 月より運営する電話医療通訳サービス「mediPhone for Hospitals」(メディフォン・フォ・ホスピタルズ)は、医療機関から電話をかけるだけで、医療に専門性を持つ通訳者につながるシステム。現在までに日本全国 70 以上の医療機関が導入している。

スマート・ナビは、タブレット端末を利用した営業支援・顧客管理・販売促進などのソリューションを提供、インターネット環境、タブレット環境、システムなどをトータルに提供する会社。iPad を使ったテレビ電話通訳サービスでは、外国人観光客など向けのテレビ de 通訳、聴覚障がい者向けの「テレビ de 手話」を提供しており、2012 年 3 月以來、宿泊施設、交通機関、自治体、専門店など数千か所で利用されているという。

製品・サービス動向-海外

■ BroadSoft 社：BroadSoft と Microsoft Office 365 との統合 UC ソリューションの提供開始

(12 月 4 日)

BroadSoft 社 (<http://www.broadsoft.com/>) (米国・メリーランド州) は、同社のユニファイドコミュニケーションおよびコラボレーションソリューションが、マイクロソフト社の「Microsoft Office 365」との連携ソリューションを提供開始する。

BroadSoft 社は、マイクロソフトのソフトウェア開発キットを使用して、BroadSoft 社の「BroadSoft BroadWorks」「BroadCloud」「UC-One」と Microsoft Office 365 とを連携（「BroadSoft Office 365」）することにより、Microsoft Office 365 デスクトップアプリケーションから BroadSoft のクラウド PBX や UC-One 機能を利用できるようにした。その中でたとえば、Office 365 からメール、文書、データベース、住所録、ウェブページ上の電話番号をクリックするだけで通話ができる、といったこともできるようになっている。

BroadSoft 社によると、Microsoft Office 365 の商業導入件数は大幅に増えているため、同社やサービスプロバイダーにとって魅力的な市場機会となっているという。また、一方で、統合 UC ソリューションは、ユーザにとって、コミュニケーション、業務ワークフロー、モバイル生産性などの向上に役立つとしている。

ビジネス動向-海外

■ Yealink 社：Mind 社とテレビ会議ソリューションでパートナーシップ締結

(11 月 10 日)

Yealink 社 (<http://www.yealink.com/>) (中国・廈門市) と Mind 社 (<https://us.imind.com/>) (ロシア・モ

スクワ) は、テレビ会議ソリューションの連携でパートナーシップを締結した。

パートナーシップは両社のテレビ会議ソリューションの連携を目的としたもの。Yealink 社の提供する 1080p フル HD テレビ会議システム「VC400」/「VC120」そして SIP 対応テレビ電話「VP-T49G」と、テレビ会議ソフトウェアの開発を行う Mind 社のソフトウェア MCU との相互接続性を実現した。

Yealink 社は、テレビ会議を含めた UC 端末をグローバルに提供する中国企業。世界 100 か国以上に製品を提供している。一方、Mind 社は 2009 年設立のテレビ会議向けソフトウェア開発メーカー。2014 年には 4K ウルトラ HD(3840x2160)に対応したソフトウェアベースのテレビ会議ソリューションを公開した。ロシア国内外で 400 社が Mind 社のソリューションを利用している。

■ Compunetix 社 : 「CONTEX Summit/ Summit Olympus」UC プラットフォームとマイクロソフト社の「Skype for Business」の統合ソリューションを発表

(11 月 18 日)

Compunetix 社 (<http://www.compunetix.com/>) (米国・マサチューセッツ州) は、同社の「CONTEX Summit/ Summit Olympus」UC プラットフォームとマイクロソフト社の「Skype for Business」の統合ソリューションを発表。近くリリース予定。

統合ソリューションは、Skype for Business が持つ、チャット、プレゼンス、Outlook の連絡先リストへのアクセスといった機能と、Summit/Olympus が持つ、HD 音声、ハイブリッドコール、「0」オペレータアシスト、レコーディングなどの機能を提供するとともに、Skype for Business の音声会議を数千の参加者まで拡張させることが可能になった。

■ Vidyo 社 : 1500 万ドルの資金調達実施、医療などバーチャル市場における事業の強化の一環

Vidyo 社 (<http://www.vidyo.com/>) (米国・ニュージャージー州) は、遠隔医療など向けのソリューションの強化の一環として、合計で 1500 万ドルの資金調達を実施。

その内、1000 万ドルは、米国 HMO (健康維持機構) のカイザーパーマネンテ (Kaiser Permanente) のベンチャーキャピタル部門である Kaiser Permanente Ventures 社から資金を調達。また、500 万ドルについては、既存のベンチャーキャピタルからのものとなる。Vidyo 社としては医療などのバーチャルマーケット (vertical market) における事業の強化が狙い。

Vidyo 社としては、これまで企業設立から総額 1 億 6300 万ドルの資金調達を実施したことになる。出資者は、今回の Kaiser Permanente Ventures 社のほか、Menlo Ventures 社、Rho Ventures 社、Sevin Rosen Funds 社、QuestMark Partners 社など。

PR

> 株式会社日立ハイテクノロジーズ
<http://cnar.jp/Hitachi-HighTech3.htm>

業界の動き

この定期レポートの発行は月2回ですが、CNAレポート・ジャパンでは、そのほか業界の動きに関連した国内外の情報を日々配信・共有しています。よろしければご参照ください。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNAレポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

アーカイブ電子ブック版

>2003年-2013年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2014年-2015年：

http://www.catalog-square.co.jp/cna_ebook/

電子ブック制作：カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

<<編集後記>>

今年の定期レポート発行はこの12月15日号で終了です。今年もご支援いただきありがとうございました。来年は1月15日号から発行開始します。良いお年をお迎えください。
(橋本啓介)

CNAレポート・ジャパン 2015年12月15日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp